

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第122号 平成28年1月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集：認知症病棟における認知症の人と家族への支援

～後編 認知症病棟におけるケアの歴史と院内デイケア～

目次

巻頭言： 『初心忘るべからず』 1
公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 中川 昇	
会長行動 1
特集： 認知症病棟における認知症の人と家族への支援 2
～後編 認知症病棟におけるケアの歴史と院内デイケア～ 大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻 菅沼一平	
理事会議事録 6
各部・委員会からのお知らせ 10
ウェブサイトアンケート集計結果 14
Occupation： 15
社会福祉法人北九州あゆみの会 小倉南障害者地域活動センター 大森 敏美	
リレーエッセイ： 16
一般社団法人 あきの会 虹の家 国光力 社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 前田竜也	
会員動向調査 19



巻頭言 『初心忘るべからず』・・・

公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 中川 昇

「あけまして おめでとうございます」いつもと変わらない新年を迎えられましたか？
今年こそ、穏やかで、ゆっくりと時が流れる1年になるといいですね。

昨年は、二人の方がノーベル賞を受賞、ラグビーのW杯3勝、北陸新幹線開通など明るいニュースが流れました。特にラグビーにおいては、《五郎丸ポーズ》が社会現象になるなど、元気を頂きました。一方でイスラム国の日本人殺害、関東・東北地方の豪雨で8の方がお亡くなりになったこと、建物の杭データ偽装など暗いニュースが流れました。豪雨などの自然現象の変化は、毎年このように起こり、多くの方が犠牲になっています。また、データ偽装も10年前に耐震偽装で大騒ぎになったことが、昨日のように思い出されて、正直「またか」と思った人は多かったのではないかと思います。どこで、どんな風に生活することが安全であり、幸せなのかよく分からなくなってきています。自然を操作することは困難ですが、建物の安全性は多くの方の創意・工夫により、さらなる向上が図られると考えられます。なぜ偽装しないといけないのか、経済の成長過程で効率的な生産性を追求すると同時に安全性についても十分に検討されてきているはずではないかと思います。それがなぜ？・・・

物づくりで大切なことは、技術・知識と同時に相手のことを考えてつくることではないでしょうか。どうしたら喜んでもらえるだろうか。安全性・快適性など常に相手の立場に立って考えることが必要だと思います。人間関係においても、同じことではないでしょうか。相手のことを考えずに自分の意見を述べてもなかなか理解してもらえないと思います。何事においても、始めた頃の謙虚で真剣な気持ちを持ち続けていかないと素晴らしい物はできないでしょうし、良好な人間関係も築けないと思います。時々『初心忘るべからず』の言葉を思い出し、相手の立場を考えて行動したいと思います。

話は変わりますが、今年の1月より会員の皆様もご存じのマイナンバー制度が始まりました。目的は、社会保障・税・災害のためといわれていますが取り扱いが難しい制度のようです。そこでお願いがあります。(公社)福岡県作業療法協会では、必要な時に会員の皆様にマイナンバーの番号を教えて頂くこともあるかと思ひます。その際は、ご協力の程、よろしくお願い致します。

最後に、“今年も会員の皆様にとって良い1年になりますように” 祈念します。

会長行動 (平成27年10月～12月)

10. 5. 平成27年度第4回福岡県作業療法協会理事会 出席
場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所
10. 6. 夢の福祉ロボットアイデアコンテスト審査会 出席 場所：ウェルとばた
10. 21. ハートメディア2015 出席 場所：福岡市精神保健福祉センター
10. 23. 福岡県公益認定等審議会 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査打合せ会議
場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所
10. 27. 福岡県公益認定等審議会 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査 出席
場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所
10. 30. 特定非営利活動法人 北九州市すこやか住宅推進協議会 理事会 出席
場所：小倉リーセントホテル
10. 31. 夢の福祉ロボットアイデアコンテスト表彰式 出席 場所：西日本総合展示場
産業医科大学リハビリテーション講座 佐伯 覚教授 就任祝賀会 出席
場所：リーガロイヤルホテル小倉
11. 4. 公益社団法人 福岡県作業療法協会 平成27年度中間監査 出席
場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会事務所
11. 5. 一般社団法人 日本作業療法士協会 地域ケアシステム推進委員会 出席
場所：一般社団法人 日本作業療法士協会 事務所
11. 12. 都道府県作業療法士会連絡協議会九州支部会議 出席
九州理学療法士・作業療法士合同士会長会議 出席
場所：別府国際コンベンションセンター (B-Con-Plaza)
11. 13. 九州理学療法士・作業療法士2015 in大分 出席
場所：別府国際コンベンションセンター (B-Con-Plaza)
11. 16. 福岡県三団体 (理学療法士会・作業療法協会・言語聴覚協会) 役員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
11. 23. 第26回全国ふうせんバレーボール大会 開会式 出席 場所：北九州市立総合体育館
12. 7. 平成27年度第5回福岡県作業療法協会理事会 出席 場所：良想夢スポーツガーデン

認知症病棟における認知症の人と家族への支援

～後編 認知症病棟におけるケアの歴史と院内デイケア～

大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻
菅沼一平

【はじめに】

「立花さん、老人性鬱病というのは、老人性痴呆もそうですが、老人性の精神病なんですよ。ですから、どうしても隔離なさいたいなら、今のところ一般の精神病院しか収容する施設はないんです。」（有吉佐和子著、「恍惚の人」より）

認知症関連の小説として、あまりにも有名な「恍惚の人」の一節である。主人公の茂造が認知症を発症し、その長男の妻である昭子が家庭内での立場や舅との人間関係等の葛藤を抱え込みながら日々の介護に忙殺される……。茂造の徘徊、夜間不眠が続き、心身ともに追い詰められた昭子は藁にもすがる思いで福祉職員に相談した。それに対する答えが「隔離したいのであれば精神病院」である。

この小説が発売された当時（昭和47年）、認知症は「精神病」として治療対象であること的位置づけが強く、特別養護老人ホームなど福祉施設に入所することができなかつた¹⁾。重度の精神症状を有し、在宅生活が困難になった認知症の人の行先は精神病院だけであり、そこでも劣悪な環境の下、十分な医療、介護をうけることができない実情があった。現場の医療・福祉職員も、目の前の認知症患者に対してどう対応してよいか分からなかつた。根本を言えば国も急速に広がりつつある高齢化社会と認知症の問題に対して、どうしてよいか分からなかつた。あるいはその問題にすら気づいていなかった。

「恍惚の人」はその後の高齢者政策に大きな影響を与え、昭和50年代の初め頃より高齢者全般の精神科医療への関心も徐々に高まっていく²⁾。昭和55年には公衆衛生審議会より「老人精神病棟に関する意見」が厚生大臣に対して出され、そこで初めて認知症の精神症状に対応できる病棟の必要性について挙げられた。そして、昭和63年の「老人性痴呆疾患治療病棟」の制度化、平成12年の介護保険制度導入を経て、現在に至る。今日、認知症の人が入院（入所）する施設では、身体拘束やマンパワー不足などの課題を抱えながらも、パーソン・センタード・ケア³⁾ 理念の広がりから、ケアの質は格段に向上している。本稿では認知症の人をとりまく入院環境とケアについて歴史的背景を振り返りつつ、認知症病棟における認知症の人への支援の実践について紹介する。

【認知症病棟におけるケアの変遷】

「老人性痴呆疾患治療病棟」の制度化以前は、

「薬漬け」、「行動抑制・拘束」、「スパゲティ症候群（たくさんのチューブでつながれた状態）」、「超大部屋（仕切りのない20人部屋）」といった病院も少なからずあった¹⁾。そこで国立療養所菊池病院（熊本県）では昭和52年に認知症高齢者の専門病棟を開設し、cure（治療）からcare（介護）を重要視することを掲げ、患者のQOLを高める取組みを実践した。具体的には薬を最小限にし、行動制限をせずに、見守り中心の関わりをすることである。そこから、前述の「老人精神病棟に関する意見」を経て、国の政策においても認知症の人のケアの有り方や病棟環境が議論されるようになった。昭和59年にはきのこエスポール病院（岡山県）が開院され、「回廊式廊下」が設計された。徘徊する認知症患者に対して、ストレスなく好きなだけ歩いてもらうという発想からきたものであった。これを効果的と考えた厚生省は老人性痴呆疾患治療病棟の施設基準として、回廊式廊下の設置を義務付け、病棟のみならず全国の特養や老健にも広がっていった。しかし、何らかの理由をもって徘徊している認知症患者にとって、歩いても歩いても目的地にたどり着かない不安、またそれによって徘徊を促進している側面があることに疑問が生じ、結局エスポール病院は設置10年後に自ら回廊式廊下を取り壊してしまう。

平成に入るとリハビリテーションとしての集団療法が重要視され、作業療法の文献においても認知症患者への集団作業療法の論文が散見されるようになる。しかし、患者個人がプログラムを選択するのではなく、構造化されたプログラムに患者が適応してもらうといった状況も多かった。当時はリハビリテーションで改善を目指すといった「医学モデル」寄りの考えが主体であったが、結局「生活モデル」のアプローチが一番の治療であるということに徐々に気付くことになる。そして、病棟は「治療の場」でありながら「生活感」や「家庭的な雰囲気」といった環境面が重要であるという認識が出始めた。平成14年にはユニットケアが特養において制度化され、それ以降、老人性痴呆疾患治療病棟でもユニットケアは実践されるようになった⁴⁻⁷⁾。

またリハビリテーションにおいても、より認知症の人への個別対応が重要視されるようになる。入院中の認知症患者を対象にデイケアを行う「院内デイケア」といった集団および個別での関わり双方のメリットを生かした取り組みも報告されるようになった⁸⁻¹⁷⁾。院内デイケアは構造化された

プログラムではあるが、先の反省から個別性を重要視し、個々の能力に合った活動を提供し（選択してもらい）、かつ患者同士の交流を通じて集団での相互効果を引き出すものである。

【認知症病棟】

以上の変遷を経て、今日の医療施設における認知症の人の「治療の場」が形作られてきた。現在、老人性痴呆疾患治療病棟の流れを汲み、重度の認知症患者を対象として急性期に重点を置いた治療病棟を「認知症治療病棟」とよぶ。ただし、認知症治療病棟ではなく「精神病棟」においても入院対象を認知症患者としている場合もある。筆者が以前所属していた施設はそれに該当するが、この原稿では便宜的に「認知症病棟」と表記することとした。

筆者が所属していた認知症病棟においても認知症患者への対応は試行錯誤の連続であり、この10年強の間、身体拘束最小化やcure（治療）とcare（介護）双方の充実によるBPSDの改善およびQOLの向上といった課題に取り組んできた。職員間での議論の中で病棟の実情にあわせて実践されたものの一つが、前述の「院内デイケア」である。

【院内デイケアの概要】

院内デイケアは平成15年4月から作業療法士、看護師を中心に開始され、今年度で13年目となる。病棟とは別室に院内デイケア専用の部屋を設けており、約30名の患者がデイケアに「お出かけ」をしてスタッフの見守りの下、創作活動、カラオケ、レクリエーションを楽しんでいる（表1）。デイケアという枠組みは、病棟にくらべて目が行き届きやすいため集団プログラムの中でも個別に関わり、患者のニーズに適時介入することができる^{8, 9)}。患者は室内を自由に動き、休みたいときに休める。病棟にいるとせざるを得ない身体拘束も、見守りによってする必要がなくなるため、行動制限最小化を促進する機能としても一役買っている。急に「入院」という特殊な状況におかれた認知症患者に対して、リロケーションダメージを可能な限り少なくしていく上で、スタッフが適時見守り、介入しながら、活動を行うという院内デイケアの環境は極めて効果的である。また安心できる環境下での活動を通して、BPSD軽減や生活リズムの安定化といった治療効果も生まれ、そこから、在宅（外来デイケア）に切れ目なくつなげるといった退院支援の性格も併せ持っている。

運営スタッフは8名（作業療法士3名、理学療法士1名、看護師1名、ケアワーカー2名、言語聴覚士1名）で、週3回（入浴日は休み）、1日につき約5時間の活動である。院内デイケアがない月・木・土は病棟の一角で入浴の合間に創作活動・レクリエーションを実施している。筆者は院内デイ

ケアについて、従来のデイケア同様に多職種で介入することに強い意義を感じている。多職種が院内デイケアという共有スペースで同時に患者の行動を見ることで、その行動に対する職種間の捉え方や感じ方をその場で情報交換でき、その場で関わり方をどのようにすべきか議論へと発展することもある。最終的に意見を集約し、病棟スタッフにフィードバックすることで適時、各患者のケアの在り方を見直すことになる。「院内デイケア」という活動システムによる環境調整とスタッフ間の情報共有・議論（チームアプローチ）が患者を改善へと導くのである。

表1 院内デイケアプログラム

時間帯	プログラム	時間帯	プログラム
10:00～10:15	お茶	12:45～13:30	マウスケア、トイレ
10:15～10:30	朝の会・体操		誘導、昼休み
10:30～11:30	レクリエーション	13:30～14:30	個人活動（創作・運動）
11:30～12:00	トイレ誘導、手洗い	14:30～15:00	茶話会
12:00～12:45	昼食	14:15～14:30	掃りの会・体操

【院内デイケアの論文報告】

筆者の知る限りでは、平成15年の上城による事例報告⁸⁾が最初の院内デイケアの論文である。以後、学術誌において量的研究や実践報告が散見されるようになり、老年領域の学会においても数多く報告されるようになった。本稿では平成24年に筆者が報告した院内デイケアの有効性について検討した論文¹³⁾を紹介する。

1. 研究デザイン（図1）

前後比較研究であり、対象者は認知症病棟の入院患者17名である。対象者に対する通常作業療法を2ヶ月間（ベースライン期）実施し、その後、通常作業療法に加え院内デイケアでの作業療法を2ヶ月間（介入期）実施した。

評価は、MMSE（認知機能）、CDR（認知症重症度）、TBS（BPSDの頻度）、PSMS（ADL）を実施することとした。ベースライン期の開始前評価（一次評価時）、介入期の開始前評価（二次評価時）、介入期の終了後評価（三次評価時）の3時点にて実施し、ベースライン期と介入期を比較することで有効性を検討した。

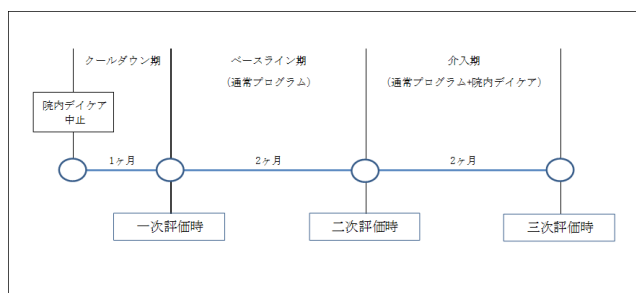


図1 研究デザイン

2. 結果 (表2)

MMSE, CDR, PSMSに有意差は認められなかったが、TBSでは有意差が認められ、BPSDの頻度が減少した。下位項目別にみると「徘徊」、「他者とのトラブル」、「言いがかり」の項目が有意に改善していた。

3. 考察

不安や攻撃的要素の強い項目にて有意な改善が見られたのは、院内デイケアによる見守りの中、不安や攻撃性が高まる未然に声掛けするなど「先回りのケア」が効果的であったと考える。また、そこからさりげなく作業療法（創作活動やレクリエーション）へと転換することで徘徊の減少につながったと解釈する。院内デイケアによる環境調整が効果的であることを示すと同時に、認知症患者のBPSDは環境要因によるものが大きいということが示唆された。

4. 本研究の限界

院内デイケア関連論文は、筆者のも含めて前後比較研究による報告がほとんどであり、エビデンスレベルは低い。作業療法の現場において、ダブルブラインドでランダム化比較試験を実施することは困難であるが、効果的なケアを広めていくためにも何らかの根拠を示していかなければならない。

【医療現場における今後の認知症の人への支援】

以上、認知症治療病棟、認知症病棟は時代の変遷とともに環境とケアの質が向上してきた。今後は増え続ける認知症人口に対して、認知症病棟だけではなく一般病棟においても体制を整備する必要がある。平成27年11月26日、厚生労働省は来年春の診療報酬改定で、身体疾患の治療のために急

表2 TBS下位項目における院内デイケアの付加効果の検証

	一次評価時	二次評価時	三次評価時
1. 住居の内外をしきりと歩きまわる	3.0(0, 4.0)	0(0, 4.0)	0(0, 3.0)
		* **	
2. 食物でないものを口に入れる	0(0, 0)	0(0, 0.5)	0(0, 0)
3. 運転やガス・電気器具の危険な操作	0(0, 0)	0(0, 0)	0(0, 0)
4. 金品を盗られたと責める	0(0, 0)	0(0, 0)	0(0, 0)
5. 言いがかりや、説明に対する否定・ゆがんだ解釈	2.0(0, 3.0)	2.0(0, 3.0)	0(0, 1.0)
		* **	
6. むやみに物を隠す	0(0, 0)	0(0, 0)	0(0, 0)
7. 無意味な作業	0(0, 1.0)	0(0, 1.5)	0(0, 0)
8. 職員の仕事・休養の妨害	0(0, 2.0)	0(0, 1.5)	0(0, 0)
9. 他人とのトラブル	2.0(0, 3.0)	1.0(0, 2.5)	0(0, 1.0)
		* **	
10. つまらない物を集める	0(0, 0)	0(0, 0)	0(0, 0)
11. 夜半に騒いだり、人を起こす	2.0(0, 3.5)	0(0, 0)	0(0, 0)
		** **	
12. トイレ以外での排泄, 便こね	0(0, 0)	0(0, 0)	0(0, 0)
13. 暴力・破損行為や暴言	2.0(0, 3.0)	0(0, 1.5)	0(0, 0)
		**	
14. まとわりついたり、同じ質問を繰り返す	0(0, 2.0)	0(0, 0.5)	0(0, 3.0)
		*	
15. 大声で叫ぶ・金切り声をあげる	0(0, 3.0)	0(0, 3.0)	0(0, 1.0)

データの表記は中央値 (25%タイル, 75%タイル) ** P<0.01 * P<0.05

ベースライン期: 一次評価時 - 二次評価時

介入期: 二次評価時 - 三次評価時

性期病院などに入院した認知症患者のケアの質を高めるため、専門医や認定看護師といった多職種で構成するチームでの対応を新たに評価する方針を打ち出した¹⁸⁾。認知症患者はせん妄などの合併により入院が長引く傾向があることから、早期の退院を促す狙いもある。また、今回紹介した院内デイケアにおいても制度化に向けて、平成27年5月29日に日本看護協会から厚労省に対して、実施した場合の評価について要望書が提出された¹⁹⁾。心身症状の悪化により入院が必要となった認知症患者に対して、短期入院で在宅復帰を目指すためには、認知症病棟のみならず一般病棟においても院内デイケアのようなシステムや前号で紹介した家族支援が必要になるのではないだろうか。

【文 献】

- 1) 宮崎和加子：認知症の人の歴史を学びませんか。中央法規出版，東京(2011)。
- 2) 植田孝一郎：老人性痴呆疾患専門病棟の歴史的背景。日本精神病院協会雑誌，20(11)：11-14(2001)。
- 3) Tom Kitwood, Dementia Reconsidered the person first, Open University Press 1997. 高橋誠一訳：認知症のパーソンセンタードケア。筒井書房，東京(2005)。
- 4) 橋本隆彦，長谷部好彦，中川ひとみ，他：ユニットケアを導入した認知症疾患治療病棟での取り組み。日本精神科看護学会誌，49(2)：449-452(2006)。
- 5) 田道 智治，八木範子，松尾絵美，他：老人性認知症疾患治療病棟におけるユニットケアの効果 入院患者の行動観察をとおして。日本看護学会論文集 老年看護 37：206-208(2007)。
- 6) 高橋 淳，横田 修，藤沢嘉勝，他：認知症疾患治療病棟における家庭的環境と個別ケアの導入による治療の試み。老年精神医学雑誌，18(12)：1341-1349(2007)。
- 7) 渡邊啓子，村山憲男，松尾絵美，他：既存の老人性認知症疾患治療病棟へのユニットケア方式導入による看護師と看護補助者のストレスの変化。日本認知症ケア学会誌，7(1)：107-118(2008)。
- 8) 上城憲司，白石 浩，田北昌史，他：日本作業療法士協会版認知症アセスメントに基づいた作業療法アプローチ事例を通して一。精神認知とOT，1(3)：198-204(2004)。
- 9) 上城憲司，菅沼一平，吉森見和，他：病棟における認知症の作業療法。作業療法ジャーナル，40(2)：106-109(2006)。
- 10) 大澤 幸枝，内堀 絹代：認知症患者や高次脳機能障害患者の看護 院内デイケア導入の効果。日本看護学会論文集 看護管理 (37) 100-102(2007)。
- 11) 市川仁美，須永小夜，吉沢綾子，他：院内デイケアへようこそ 急性期病院における院内デイケアの取り組み。全国自治体病院協議会雑誌，48(3)：41-43(2009)。
- 12) 葉室 篤，斉藤里菜，増尾辰也，他：認知症疾患治療病棟における院内デイケアの効果 病棟と自宅・施設の架け橋。老年精神医学雑誌，22(4)：448-452(2011)。
- 13) 菅沼一平，上城憲司，白石 浩，他：認知症高齢者のための認知症病棟における「デイケア」の効果。作業療法ジャーナル，46(5)：535-540(2012)。
- 14) 大久保和実，徳山まどか，大西友佑子，他：せん妄予防対策チームで関わる院内デイケアの効果。市立豊中病院医学雑誌，(13) 13：15-19(2013)。
- 15) 鈴木みずえ，加藤滋代，櫻木千恵子，他：急性期病院で内科治療を受ける認知症高齢者に対する院内デイケアの援助。認知症ケア事例ジャーナル，6(4)：381-390(2014)。
- 16) 大澤幸枝，齋田綾子，田中聡一：入院患者の認知症周辺症状に対する看護師の負担に関する研究 院内デイケアの効果検証。日本医療福祉学会全国学術大会学術報告論文集，2013年度：77-87(2013)。
- 17) 岩間一志，杉田杏沙美：入院患者の離床促進を目的とする院内デイケアの取り組み。理学療法湖都，33：61-64(2014)。
- 18) 医療介護CBニュース：認知症患者ケア，チーム医療で家族負担解消 診療報酬改定で評価へ。http://www.cabrain.net/news/article/newsId/47427.html。(2015年11月26日)。
- 19) 公益社団法人 日本看護協会：平成28年度診療報酬改定に関する要望書。http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20150529160243_f.pdf(2015年5月29日)。

平成27年度 第4回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成27年10月5日(月) 19時00分～22時20分
II. 場所 : 株式会社らそうむ らそうむスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 15名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 佐藤稔
大田登志樹, 平岡敏幸, 深町晃次, 榎本孝史, 田中真純
玉野和男, 濱本孝弘, 許山勝弘, 有久勝彦(以上, 理事)
吉田秀樹(以上, 監事)
田邊慎一, 藤崎実知子, 鐘ヶ江秀俊(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 椋学美, 沖雄二, 轟木健市, 福田裕樹, 手島智康(以上, 理事)
原口健三(以上, 監事)(敬称略)

VI. 審議事項

- 第20回福岡県作業療法学会の企画イベントにおける講師の承認について**
(有久勝彦学術部担当理事)
以下の講師依頼について報告。 →承認
川辺千津子氏(医療福祉専門学校 緑生館 作業療法士)
- 福岡ブロック研修会講師の承認について(志井田太一代表理事)**
福岡ブロックから以下の講師依頼の提案があったとの報告。 →承認
吉良健司氏(在宅リハビリ研究所 所長, 株式会社らいさす代表取締役 理学療法士)
- 福岡東ブロック研修会講師の承認について(大田登志樹福岡東ブロック担当理事)**
以下の講師依頼について報告。 →承認
手島智康氏(良創夢リハビリの森デイサービスセンター 作業療法士)
許山勝弘氏(福岡リハビリテーション病院 作業療法士)
- 筑後ブロック研修会講師の承認について(志井田太一代表理事)**
筑後ブロックから以下の講師依頼の提案があったとの報告。 →承認
大川照明氏(福岡天神医療リハビリ専門学校 作業療法士)
江原公洋氏(介護老人保健施設からざステーション 作業療法士)
浦田健太郎氏(向陽台病院 作業療法士)
日田勝子氏(国際医療福祉大学 作業療法士)
- 筑豊ブロック研修会講師の承認について(平岡敏幸筑豊ブロック担当理事)**
以下の講師依頼について報告。 →承認
平岡敏幸氏(飯塚記念病院 作業療法士)
- 北九州ブロック研修会講師の承認について(玉野和男北九州ブロック担当理事)**
以下の講師依頼について報告。 →承認
榎井剛士氏(健康リハビリテーション内田病院 作業療法士)
- 北九州ブロック研修会講師の承認について(玉野和男北九州ブロック担当理事)**
以下の講師依頼について報告。 →承認
佐藤友美氏(湯布院病院 作業療法士)
- 特別支援教育に携わるOT研修会の講師承認について(濱本孝弘保健福祉部担当理事)**
以下の講師依頼について報告。 →承認

三木美樹氏（北九州総合療育センター地域支援室 作業療法士）
齊藤瑞穂氏（こぐま福祉会地域支援室 作業療法士）
都留清香氏（中間市療育支援センター親子ひろばリンク 作業療法士）
長野清一郎氏（医療福祉センター聖ヨゼフ園 作業療法士）

9. マイナンバー制度について（中川昇事務局長）

マイナンバー制度開始にあたって講師への謝金支払い時に源泉税処理のためマイナンバー管理の必要性があることについての報告と管理方法について提案。マイナンバー制度導入に間に合うよう準備をすすめていくことについては承認。具体的な管理の手順など詳細は継続検討。
→承認・継続検討

10. ホームページのリニューアル及び会員管理システムの構築について

（許山勝弘広報部担当理事）

ホームページ及び会員管理システムリニューアルをすることに関して、2社について月額利用料なども併せて検討。旧から新システムへの移行がスムーズに行えるかどうかの確認も含めて、詳細は継続検討。
→継続検討

11. 福岡県作業療法協会謝金規程について（志井田太一代表理事）

規約委員会から認定作業療法士の講師謝礼金の改定の提案があったとの報告。来年度の改定は行わず継続検討。
→継続検討

12. 福岡県作業療法協会表彰規程について（志井田太一代表理事）

規約委員会から表彰規程の提案があったとの報告。詳細は継続検討。
→継続検討

13. 平成28年度予算・事業計画の承認について（中川昇事務局長）

平成28年度予算・事業計画について提案。次回理事会に向けて継続検討。
→継続検討

14. 第26回全国ふうせんバレーボール大会ハンディレベル判定員の承認について

（玉野和男北九州ブロック担当理事）

平成27年11月23日に北九州総合体育館で開催される全国ふうせんバレーボール大会について、以下の会員を判定員として派遣するとの報告。
→承認

津川文信氏（上野病院）
安部千秋氏（福祉用具プラザ北九州）
眞珠宗彦氏（小倉リハビリテーション病院）
三村和礼氏（和菜屋）
釘本寛子氏（福岡徳州会病院）
小塩恭平氏（八幡厚生病院）
恵良裕一氏（高山病院）
玉野和夫氏（松恒園通所リハビリ）
和田亜耶子氏（飯塚記念病院）
上田昌弘氏（福岡新水巻病院）

15. 正会員の入会承認について（中川昇事務局長）

平成27年8月から9月までの間に45名の入会があった。
→承認

16. 地域包括ケアシステム推進会議（仮称）の設置について（志井田太一代表理事）

地域包括ケアシステム関連事業（地域ケア会議助言者及び総合事業協力者の会員推薦、MTDLP研修など）に関して、以下の関連のある理事を構成員として会議を開催することについて提案。
→承認

志井田太一氏（代表理事）
竹中祐二氏（業務執行理事）
座小田孝安氏（業務執行理事）
濱本孝弘氏（保健福祉部担当理事）
田中真純氏（渉外部担当理事）
福田裕樹氏（保険委員会担当理事）
榎本孝史氏（事業部担当理事）
大田登志樹氏（福岡東ブロック担当理事）
平岡敏幸氏（筑豊ブロック担当理事）
玉野和男氏（北九州ブロック担当理事）
黒木勝仁氏（福岡ブロック担当理事代行）
轟木健市氏（筑後ブロック担当理事）

Ⅶ. 協議事項

17. 日本作業療法士協会設立50周年記念事業における厚生労働大臣表彰被推薦者について (志井田太一代表理事)

日本作業療法士協会設立50周年記念事業における厚生労働大臣表彰被推薦者として、福岡県協会から大丸幸氏（九州栄養福祉大学）を推薦する。 →承認

18. 日本作業療法士協会特別表彰被推薦者について（志井田太一代表理事）

日本作業療法士協会特別表彰における被推薦者として、福岡県協会からは該当者なし。 →承認

19. 第20回福岡県作業療法学会の後援申請に関する書類内容について

(有久勝彦学術部担当理事)

第20回福岡県作業療法学会後援申請の際の書類記載内容について確認。 →承認

20. 第20回福岡県作業療法学会の学会誌広告依頼におけるホームページ案内掲載について (有久勝彦学術部担当理事)

第20回福岡県作業療法学会の学会誌の広告依頼についてホームページ上に案内を掲載することの提案があった。協議の結果、掲載要領など詳細を再検討し三役確認の上で掲載することで承認。 →承認

21. 平成27年度第2回会員向け福利厚生事業について（深町晃次福利部担当理事）

会員向けの福利厚生事業の実施について以下のように提案。 →承認

利用施設 ハーモニーランド

招待期間 平成27年12月12日（土）～平成28年1月11日（日・祝日）

*12月31日19：00からのカウントダウンは対象外

対象 福岡県作業療法協会会員とご家族（4歳未満の子供は無料）

チケット 650円（通常2,900円）

Ⅷ. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

22. 代表理事行動について（志井田太一代表理事）

平成27年7月～9月の代表理事行動について報告。

23. 県協会宛て依頼案件について（志井田太一代表理事）

平成27年8月1日～9月30日までの間に県協会宛てに9件の依頼（研修会案内依頼2件、講師・委員推薦依頼4件、共催・後援依頼3件）があった。

24. 一般社団法人日本作業療法士協会代議員選挙への立候補確認について

(志井田太一代表理事)

平成28年9月15日に公示された代議員選挙について立候補確認報告。

25. **福岡県リハビリ専門職の介護予防指導者養成事業の企画・運営について**
(志井田太一代表理事)
福岡県リハビリ専門職の介護予防指導者養成事業について、北九州市、福岡市、久留米市を開催会場として研修会開催の準備を行っている。
26. **臨床実習指導者養成研修について** (志井田太一代表理事)
臨床実習指導者養成研修 (会場：長崎県) について、県協会からも教育部員2名 (青山氏：麻生リハビリテーション学院, 前田氏：聖マリア病院) を派遣する。
27. **団体保険の加入について** (志井田太一代表理事)
会員の団体保険の加入について現在検討中。
28. **福岡県バリアフリーアドバイザー講習会参加報告について** (竹中祐二業務執行理事)
福岡県バリアフリーアドバイザー講習会 (9月11日クローバープラザにて開催) について報告。
29. **中間監査について** (中川昇事務局長)
中間監査を10月末に実施予定。各部に中間予算・事業報告の提出を依頼。
30. **教育部主催研修会報告** (白山義洋教育部担当理事)
平成27年9月12日 (土) に開催した現職者選択研修 (精神分野) に86名参加。
31. **第20回福岡県作業療法学会の進捗状況について** (有久勝彦学術部担当理事)
第20回福岡県作業療法学会の準備状況について報告。35演題の応募があり査読を行っている。
32. **ジャーナル「作業療法・福岡 第14号」編集・企画について** (有久勝彦学術部担当理事)
ジャーナル「作業療法・福岡 第14号」編集・企画の進捗状況について報告。6月末より募集を開始し10月1日に締め切った。
33. **ウェブアンケートについて** (許山勝弘広報部担当理事)
9月より県協会サイトについてウェブアンケートを開始している。
34. **3士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会について** (志井田太一代表理事)
3士会合同訪問リハビリ研修会の会場が和白リハビリテーション学院に決定した。
35. **地域ケア個別会議モデル研修会参加について** (志井田太一代表理事)
地域ケア個別会議モデル研修会に2名 (福田氏：八女リハビリ病院, 靱井氏：健康リハビリテーション内田病院) が参加する。
36. **西日本福祉機器展2015について** (佐藤稔企画委員会担当理事)
平成27年10月29日 (木) ～31日 (土) に開催される西日本福祉機器展2015に県協会としてブース出展する。会員に向けてボランティアの募集を行っている。
37. **生活行為向上マネジメント推進のための助成申請について** (濱本孝弘保健福祉部担当理事)
助成金支給が決定した。
38. **生活行為向上マネジメント研修修了者の申請について** (濱本孝弘保健福祉部担当理事)
本年度の基礎研修修了者については、参加者一覧を日本作業療法協会に報告し終了証を発行している。

IX. 次回開催日

平成27年度 第5回理事会

日時：平成27年12月7日 (月) 19:00～

場所：株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 主催研修会開催報告

1) 地域分野研修会

日 時：平成27年10月4日（日）
10:15～16:00
会 場：福岡医健専門学校
テーマ：『地域包括ケアシステム構築に向けた作業療法士の役割』
講 師：田嶋 浩俊
（福岡県庁保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課 課長補佐）
西上 忠臣 OT
（NPO法人ちゃんくす代表）

参加数：38名（内 PT 1名）

2) 第1回現職者共通研修

日 時：平成27年10月24日（土）
14:00～17:10
会 場：麻生リハビリテーション大学校
テーマ & 参加数 & 講師：

区分1①作業療法生涯教育概論 56名 鐘ヶ江秀俊 OT（療養介護事業所ひなた家）

青山克実 OT（麻生リハビリテーション大学校）

②職業倫理 49名 榎本孝史 OT（北九州リハビリテーション学院）

区分2①作業療法の可能性 31名 町田真一郎 OT（アイエック訪問看護ステーション）

②事例報告と事例研究 35名 音琴慎一 OT（福岡和白リハビリテーション学院）

区分3①保健・医療・福祉と地域支援 31名 靱井剛士 OT（健康リハビリテーション内田病院）

②実践のための作業療法研究 28名 佐野幹剛 OT（九州栄養福祉大学）

区分4①作業療法における協業・後輩育成 34名 森光洋子 OT（北九州リハビリテーション学院）

②日本と世界の作業療法の動向 21名 大丸幸 OT（九州栄養福祉大学）

3) 老年期分野研修会

日 時：平成27年11月1日（日）9:00～13:00
会 場：宗像水光会総合病院 フィットネスセンター地域交流室

テーマ：『明日から活かせるリスク管理』
老年期の方に多く認める疾患
～OTとして再認識～

講師1：『臨床場面のリスク管理』
岩野 歩 Dr.（コールメディカルクリニック福岡）

講師2：『整形疾患の方へ作業療法を実施す

る際のリスク管理と訓練のポイント』

黒木 勝仁 OT（原病院）

講師3：『脳血管障害患者の基本的病態と臨床像のとらえ方』

吉田 健 OT（九州保健福祉大学）

参加数：51名（内、PT 1名）

4) 身障分野研修会

日 時：平成27年11月8日（日）9:30～16:00

会 場：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：『住宅改修の知識と経験』

講師1：田中 真純 OT（株式会社 良創夢）

講師2：物部 加奈代 社会福祉士（久留米リハビリテーション病院）

講師3：吉田 誠治 一級建築士（株式会社 夢企画）

参加数：65名（内、他県士会OT 熊本1名、PT 1名、業者 1名）

2. 今後の主催研修会開催予定（日程・会場）

1) 分野別研修会

①発達分野研修会：H28.1.10（日）

テーマ：活動・参加につなげるために

会 場：麻生リハビリテーション大学校

2) 生涯教育制度関連研修会

①現職者共通研修：第2回：H28.2.13（土）

会 場：九州芸文館

（福岡県OT学会と共催）

【北九州ブロック】

1. 活動報告

〈北九州ブロック〉

ブロック企画会議開催

平成27年11月9日（月）19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務所

第26回全国ふうせんバレーボール大会

日 時：平成27年11月23日（月）

会 場：北九州市立総合体育館

参加者：14名（ハンディレバルチェックスタッフ）

〈小倉北・門司エリア〉

エリア事業企画会議開催

平成27年11月10日（火）19:00～

〈小倉南・京築エリア〉

エリア事業企画会議開催

平成27年10月14日（水）19:00～

北九州市立曾根東市民センター

〈八幡西・遠賀・中間エリア〉

エリア事業企画会議開催

平成27年9月30日（水）19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務所

平成27年10月18日（日）19:00～

リハデイ吉木
第5回北九州ブロック研修会
(八幡西・遠賀・中間エリア担当)
日 時：平成27年10月4日(日) 13:30～15:30
会 場：八幡西生涯学習総合センター
大会議室
テーマ：『作業occupational』にSwitch On!
～人は“作業”することで健康になれる～
講 師：近藤敏氏(広島都市学園大学)
参加者：約30名
作業療法啓発活動
H27.10.18(日)

「遠賀町健康福祉まつり」に参加
スタッフ：5名
参加者：約130名(ビーズ体験・リハ相談・体操)

<戸畑・若松・八幡東エリア>

エリア事業企画会議開催
平成27年10月6日(火) 19:00～
あやめの里

第6回北九州ブロック研修会
(八幡東・戸畑・若松エリア担当)
日 時：平成27年11月27日(金) 19:00～21:00
会 場：九州栄養福祉大学
小倉南区キャンパス
テーマ：回復期病棟での他職種との連携について
～退院後の生活を踏まえて～
講 師：靱井剛士氏
(健康リハビリテーション内田病院)
参加者：37名

<広報部>

事業企画会議開催
平成27年10月20日(火) 19:00～
和菜屋

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：10月15日, 11月10日, 12月10日
2. 広報部
 - 1) 「Joy Style 秋号」10月20日発行
 - 2) Facebook：随時更新中
3. 教育学術部
 - 1) 「ポジショニングアセスメント～実践～」
講師：伊藤亮子先生(公認フェルデンクライスプラクティショナー)
日時：10月3日(土) 13:30～17:30
会場：麻生リハビリテーション大学校
参加：34名
 - 2) 「活動・参加につながるリハビリテーション～病院から始まる人としての復権～」
講師：吉良健司先生(訪問りはびり研究所・株式会社らいさす代表取締役理学療法士)
日時：12月12日(土) 10:00～14:00

会場：福岡赤十字病院 椎木記念ホール
参加：24名

4. エリア会

- 1) 第1回 事例報告検討会
日時：10月26日 19:00～
会場：麻生リハビリテーション大学校
発表：7名 聴講：7名
- 2) 第2回 事例報告検討会
日時：12月7日 19:00～
会場：麻生リハビリテーション大学校
発表：4名
聴講：17名
- 3) 城南地区エリア会
「生活行為向上マネジメントと地域の作業療法について」
講師：黒田隆之先生(アイエック訪問看護ステーション)
日時：12月8日(火) 19:00～20:30
会場：福西会病院
参加：18名

【筑後ブロック】

【活動報告】

<公1>

1. 事業企画会議

- 1) 第4回 筑後ブロック事業企画会議
日程：平成27年10月19日(月) 19:30～
場所：高良台リハビリテーション病院
出席：11名
- 2) 第3回C地区企画会議
日程：平成27年9月7日
場所：介護老人保健施設 はなぞの
出席：6名
- 3) 教育部会議
日程：平成27年9月17日
場所：モスバーガー 大善寺店
出席：4名

- 4) 第4回B地区企画会議
日程：平成27年9月30日
場所：のぞみ船小屋
出席：5名

- 5) 第4回C地区企画会議
日程：平成27年11月9日
場所：介護老人保健施設 はなぞの
出席：6名

2. 研修会

- 1) A地区研修会
日時：平成27年9月25日
会場：えーるピア久留米(生涯学習センター301・302学習室)
標題：地域における認知症高齢者の現状と作業療法士の役割
講師：上城憲司先生(西九州大学)

参加：41名

2) B地区研修会

日時：平成27年10月9日

会場：サザンクス筑後第3研修室

標題：やさしくわかる脳画像の診方と臨床への
活かし方

講師：川原大和先生(筑后市立病院作業療法士)

参加：50名(OT48名, PT2名)

3) C地区事例検討報告会

日時：平成27年10月14日

会場：帝京大学 福岡医療技術学部

参加：発表7名, 聴講14名, 当日聴講15名

4) D地区研修会

日時：平成27年10月16日

会場：ピーポート甘木

標題：知って得する認知症予防とケア

講師：上城憲司先生(西九州大学)

参加：OT22名, 一般12名, 計34名

5) 筑後ブロック全体研修会

日時：11月8日(日) 10:00～(9:30～受付)

会場：石橋文化会館共同ホール1階研修室

標題：高次脳機能障害と作業療法実践

講師：国際医療福祉大学 原 麻理子先生

参加者：OT45名(内他職種PTが1名)

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebook広報実施

2) 福岡県作業療法協会ホームページに研修会掲載

3) 分野別研修会告知ムービー作成

〈他1〉

1. C地区交流会

日時：平成27年11月20日

場所：炭火焼き居酒屋 荘

参加：21名

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. A地区事例報告検討会

日程：12月4日(金) 19:00～

会場：久留米大学医療センター リハセンター
カンファ室

2. 第2回分野別研修会

日時：平成27年12月6日

会場：専門学校 久留米リハビリテーション学院
・身体障害部門

標題：関節可動域制限に関する作業療法

～「整形疾患に対する治療手技」～

講師：大川 照明先生(福岡天神医療リハビリ
専門学校 作業療法士)

・精神障害部門

標題：精神科作業療法における課業整理とクリニ
カルクラークシップについて

講師：浦田健太郎先生(向陽台病院 作業療法士)

・老年期障害部門

標題：シーティングのアプローチ(応用編)

～座位姿勢の評価から具体的なアプローチ～

講師：江原公洋先生(からぎステーション 作業療
法士)

・発達障害部門

標題：発達障害児への作業療法

～J-PAN感覚処理・行為機能検査の概要と活用～

講師：日田勝子先生(国際医療福祉大学 作業療法
士)

3. B地区事例検討報告会

日程：平成28年1月13日(水)

場所：久留米リハ学院

4. D地区事例検討報告会

日程：平成28年2月5日

場所：甘木中央病院

〈他1〉

1. B地区交流会について(予定)

日時：平成27年11月27日(金) 19:30～

場所：月光浴(西鉄久留米駅近隣)

【筑豊ブロック】

〈公1〉

I. 事業企画会議

第4回筑豊ブロック事業企画会議

日時：平成27年10月13日(火)

19:00～20:30

会場：飯塚記念病院 グランドホール

参加者：12名

内容：第4回, 第5回筑豊ブロック研修会,
市民向け啓発活動について, 他

第5回 筑豊ブロック事業企画会議

日時：平成27年12月15日(火)

会場：飯塚記念病院 グランドホール

参加者：15名

II. 研修会

第4回 筑豊ブロック研修会

日時：平成27年10月23日(金)

19:00～21:00

テーマ：地域包括ケアシステムにおける作業
療法士の役割

講師：靱井剛士先生

(健康リハビリテーション内田病院)

参加者：42名

第5回 筑豊ブロック研修会

日時：平成27年12月17日(木)

会場：飯塚記念病院 グランドホール

テーマ：対象者との合意目標設定のコツ

講師：平岡 敏幸(飯塚記念病院)

参加者：18名

〈公2〉

III. 広報誌 筑豊OT TIMES 第14号

平成27年10月17日発行

IV. 啓発活動 「嘉麻ふれあいまつり2015」

日 時：平成27年11月7日（土）

9：00～17：30，

11月8日（日） 9：00～16：00

会 場：稲築スポーツプラザ

内 容：足底重心圧測定，スーパーボールつかみ，作業療法説明，等

参加者：足底圧 7日：97名 8日：114名
スーパーボールつかみ のべ300名

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takis yokai.co.jp



タキ商会

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡キャンパス（福岡県福岡市）

大川キャンパス（福岡県大川市）

医療福祉学研究科

修士課程 保健医療学専攻

作業療法学分野/理学療法学分野/リハビリテーション学分野/言語聴覚分野/看護学分野/ナースプラクティショナー養成分野/助産学分野/助産学（福岡）分野/視機能療法学分野/福祉支援工学分野/放射線・情報科学分野/生殖補助医療胚培養分野

医療福祉経営専攻

医療福祉経営学分野/診療情報管理・分析学分野/医療福祉国際協力学分野/先進的ケア・ネットワーク開発研究分野/医療福祉連携学分野/医療福祉ジャーナリズム分野

臨床心理学専攻

博士課程 保健医療学専攻

作業療法学分野/理学療法学分野/リハビリテーション学分野/言語聴覚分野/看護学分野/助産学分野/視機能療法学分野/福祉支援工学分野/放射線・情報科学分野/生殖補助医療胚培養分野/医療福祉経営学分野/診療情報管理・分析学分野/医療福祉国際協力学分野/先進的ケア・ネットワーク開発研究分野/医療福祉連携学分野/医療福祉ジャーナリズム分野/医療福祉心理学分野

薬科学研究科

修士課程 生命薬科学専攻

薬学研究科

博士課程 医療・生命薬学専攻



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
多くの授業を平日の夕方と土曜日に開講
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
各キャンパスを結ぶ同時双方遠隔授業を実施
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます
大田原キャンパスに充実の研究施設を整備
- ◆ 長期履修制度を導入しています
あらかじめ3年間での計画的な長期履修の申請が可能

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましてはお問い合わせ下さい。
※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡キャンパス

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL：092-407-0434
FAX：092-407-0474
E-mail：fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL：0944-89-2000
E-mail：oocamp@iuhw.ac.jp

HP：http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/

<ウェブサイトアンケート集計結果>

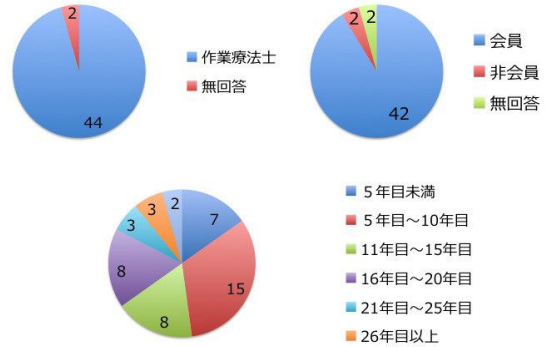
広報部

期間：平成27年9月2日～11月30日 回答数：46

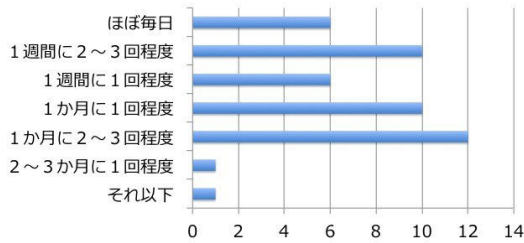
回答者データ：n=46



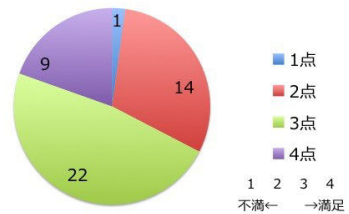
回答者データ：n=46



Q1. 福岡県作業療法協会のウェブサイトへのアクセス頻度はどのくらいですか。



Q2. 福岡県作業療法協会のウェブサイトについて、総合的にどのくらい満足していますか。



総合満足度：平均2.78点

Q3. 福岡県作業療法協会のウェブサイトの内容・コンテンツをどのように感じていますか。

理由

1 2 3 4
悪い ← → 良い
平均：2.84点

- ・すぐに知りたい情報を得やすいかと思う
- ・悪い理由がない
- ・研修会情報がまとまっている
- ・研修予定が頻りに更新されており、情報収集しやすいです
- ・見やすい
- ・特に問題なく見ている
- ・分かりやすい

- ・TOPページが見にくい。必要な情報を探すが大変
- ・あまり面白くない
- ・研修会の詳細がPDFだとスマートフォンでは確認しづらい
- ・研修会の情報が古いときがある
- ・見にくい
- ・一般の方には作業療法士がどんな職業なのか分かりにくい
- ・見にくいと思う
- ・更新がリアルタイムでない
- ・写真やイラストが多すぎて、どの情報があるかわかりづらい
- ・もっとシンプルでいいと思います
- ・欲しい情報が載っていない

- ・一般市民をひきつけるような内容を増やして欲しい
- ・求人情報などももう少しのせてほしい
- ・協会主催の研修会、イベントの参加者数、累計、内訳など数字を出してほしい
- ・研修会案内が作業療法の研修と若干趣旨が違うものがあり、選別が必要であると感じます
- ・研修会情報をもっと詳しく、できるだけリアルタイムで確認したい
- ・更新頻度の低いものは更新してほしい。特にイベントやメッセージなど
- ・写真やイラストが多すぎて、どの情報があるかわかりづらい。もっとシンプルでいいと思います
- ・動いていないコンテンツが多いのは不満だがやむを得ない部分もあるから
- ・もう少し動くコンテンツを増やしてほしい

・他項比較では、どうなんでしょうか？

- ・用が足れば十分だから
- ・立ち上がりが遅いところ・・・

Q5. 福岡県作業療法協会のウェブサイトのデザイン・レイアウト（情報の見せ方や色使いなど）をどのように感じていますか。

理由

1 2 3 4
悪い ← → 良い
平均：3.04

- ・シンプルでみやすい
- ・ぱっと見てわかりやすい
- ・わかりやすい
- ・悪い理由がない
- ・閲覧しやすい
- ・選択もしやすいと思います
- ・基本的には見やすい
- ・研修費が一番上にあるので見やすい
- ・見やすい
- ・視覚的にわかりやすい
- ・新しくなり見やすくなりました
- ・特になし
- ・特に不便は感じていません
- ・目に優しい色使い

- ・TOPページが見にくい。必要な情報を探すが大変
- ・もう少しコンテンツを絞らないと盛りだくさんになりすぎている
- ・構造が深いのも嫌われるがぱっと見てどこに何があるのかわかり辛い
- ・ややごちゃごちゃしている感じがコンテンツの料を考えるとやむを得ない
- ・下の正方形のリンクはアイデアは好きだが、広告に見える
- ・各ブロックのF Bがわかりにくい
- ・写真やイラストが多すぎて読みにくい
- ・写真のみでもOTとはわかりにくい
- ・素人目ではわかりにくい
- ・面白くない
- ・大人しいくらいが丁度いい

- ・レイアウトは少し区別がつかず、デザインしたほうがわかりやすいと思います
- ・一般向けコンテンツへのアクセスを引き出せるようなレイアウトをして欲しい
- ・大人しいくらいが丁度いい

Q7. 福岡県作業療法協会のウェブサイト内の情報の探しやすさについて、どのように感じていますか。

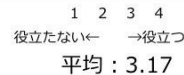
理由

1 2 3 4
悪い ← → 良い
平均：2.84

- ・わかりやすいです
- ・悪い理由がない
- ・一番TOPにあるので閲覧しやすく、選択もしやすいと思います
- ・格子状になり見やすくなりました
- ・基本的には探しやすいが、M T D L Pに限りわかりにくさがある
- ・研修会などは探しやすいですが、ブロックごとの情報を見つけるのが大変
- ・見やすくなりました
- ・項目が細分化されてるので探しやすい。項目に分かれています
- ・特になし
- ・問題なし

- ・TOPページが見にくい。必要な情報を探すが大変
- ・コンテンツがバラバラで探しにくい
- ・サイトマップが気づきにくい
- ・ブロックの活動ページ場所が分かりにくい
- ・リンクがうまくつながらないことがある
- ・一つ一つのコンテンツにイラストが付いている。場所をとっており、画面に入りきれない
- ・下の正方形のリンクはアイデアは好きだが、広告に見える
- ・各ブロックの広報にアクセスがわかりやすく活動報告が分かりにくい
- ・基本的には探しやすいが、M T D L Pに限りわかりにくさがある
- ・研修会などは探しやすいですが、ブロックごとの情報を見つけるのが大変
- ・私には探す項目が多すぎる
- ・新着では新しい研修がや探しにくい
- ・探しづらいときがある
- ・立ち上がりが遅い・・・

Q9. 福岡県作業療法協会のウェブサイトは、あなたにとってどのくらい役立ちますか。



Q10. 福岡県作業療法協会ウェブサイトのどのページをよくご覧になっていますか。

研修会情報：30 求人情報：6 会員向け情報：1 リレーエッセイ：1

Q11. 福岡県作業療法協会のウェブサイトに対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

いつも楽しみにしております。ありがとうございます。

ありません

もっとシンプルにしたいと思います

熊本県作業療法士協会のホームページがわかりやすいです

研修会情報の新しくアップされた順にも見れたら便利だと思います

研修会申し込みがウェブサイトから申し込み可能になるといいと思います

見やすく、わかりやすくしてほしい

・公益活動の幅を広げる

・平口コメントとしましたが、以前に比べ飛躍的に良くなっていると思います

さらに良いものを目指してください

・他県との比較、各分野ごとや領域ごとのページがあってもいいと思います

また、ブロック毎のページも同様に

・M T D L Pの特設ページのバナーがもっと見やすくなってほしい

Occupation

社会福祉法人北九州あゆみの会
小倉南障害者地域活動センター
大森 敏美

私は、学校を卒業し、対象者とじっくりと向き合いたいとの思いから、精神科へ進みました。病院での病棟・老健・デイケア等の勤務を経ていくうちに、次第に治療の場ではなく生活の場（地域）での仕事がしたいと思う様になったころ、地域で就労支援を行うOTとして働いてみないかとの話があり、興味を持ちました。

それまで、作業療法の作業とは、【生きるために行う意味（目的）のある行動】であると、私の頭では理解していました。それならば、【働く】という事は、人にとってどんな意味があるのだろうか…、障害があっても働かないといけないのだろうか…など、どんどん知りたいとの願望が膨らみ、地域での仕事を選びました。就労支援をしてほしいとお願いされているのに、働かないといけないのだろうかと疑問を持っている…何だか変ですよ。

就労支援に携わるようになり、間もなくして【働く意味】を考える印象的な出来事がありました。ある利用者様は、今まで1度も働いたことがなく、人生で最初の給料が授産施設での月額数百円でした。それでも、給料袋から小銭を全部手のひらに乗せ、「大森さん、見て！生まれて初めて、働いてお金もらったよ。」と感動の笑顔で報告してくれました。たとえ、数百円であっても、働く事は人からもらう1万円より価値があった様でした。そんな笑顔も、数カ月経つと「少ないね。もっとくれんかな〜。」との苦笑いになり、それがまた、次へのモチベーションへと繋がっていくんだと、頼もしく思いました。

また、縁あってジョブコーチとして実際の職場へ出向いて支援を行うこともあり、一般企業へ就職した利用者様とじっくりと向き合う機会も出来ました。

結果、就労支援を通して学んだのは、【働くことの意味】それは、生きる喜びであり、その方法はそれぞれ自由だという事でした。世の中には、会社勤め・自営業・家事手伝い・働かない等色々な働き方がありますが、結局は個人の生き方です。障害があっても無くても、私から見たら、もっと働けるのにもったいないと思っても、短時間働いて趣味も楽しみたいと思う人もいます。逆に、働くのは無理だろうと思っても、何としてでも働きたい人もいます。私たちはそういう【その人が望む生き方】が出来るように支援する…それがOTとしての仕事なんだと再認識できました。

現在は、障害者支援施設（入所：主に身体障害）のサービス管理責任者と併せて放課後等デイサービス（児童）を含めた事業所の統括主任として働きだして4年目になります。異動したての頃は、OT業務ではないため、【自分の今までの知識と経験を生かしていけるのか？自分がやりたかった事はこういう仕事なのか？】など、疑問を抱きつつ懸命に働いていました。職種は関係なく、上司の指導を受け、仲間たちと協力・相談し合いながら利用者様の生活を支えていくうちに、直接支援ばかりではなく間接的であっても、作業療法の視点を持って業務に生かしていけると、実感できるようになりました。

結局、学校を卒業した時に思っていた、じっくりと対象者と向き合っていくという事は、自分に与えられた場所で、自分の心がけ次第で出来るのではないかと感じています。Occupationとは、【生きるために行う意味（目的）のある行動】という事であれば、イコール【生きる事そのもの】なのかもしれないと思う今日この頃です。それを、媒介としている作業療法って、やっぱり素晴らしいですね。



リレーエッセイ

一般社団法人 あきの会 虹の家 国光力

私が勤務している虹の家は療養介護，短期入所，生活介護，就労継続支援A型を運営しています。療養介護とは医療と常時介護を必要とする方に，医療機関として機能訓練，療養上の管理，看護，介護および日常生活のお世話を行う施設です。何らかの理由で在宅生活ができなくなった18歳以上の重身の方が入所をしています。ベッド数は52床でそのうち6床は短期入所を行っています。また，多機能型事業所として生活介護・就労継続支援A型も行っています。生活介護は常時介護が必要な方に日中支援を行います。就労継続支援A型は一般に雇用されることが困難な方に対して雇用契約を結び，就労に必要な知識及び能力向上のために訓練を提供します。

私は以前，回復期リハビリテーション病院で働いており，こちらの事業所で働き始めた約1年前は毎日が不安の連続でした。しかし，まったく知らなかった障害福祉の世界と初めて接する重身・精神・知的障害の方々とはとても新鮮でした。しかし，その中でいろいろな問題を感じる事になりました。重身の方であれば親亡き後をどうするか，呼吸器などの重度な方は入所したり，通ったりする所がない。精神障害の方は仕事についても長続きしない，障害特性を理解してもらった上で働ける場所がない。知的障害の方は働くための知識や技術を教えてもらえない，一般就労ができないなど，これ以外にもみなさん多くの問題を抱えています。その一方で事業所としても，そのような方を受け入れてあげたい，支援をしたいと思っても，専門知識がなく多岐にわたる障害に対して柔軟に対応できないという側面もあります。障害福祉の世界で働いているOTは少ないです。その中でも，当事者の方々やご家族，事業所におけるOTのニーズは高いように感じます。私もまだ関わり始めて1年目ですが，とてもやりがいを感じています。これからもっと多くのOTが関わってくれたら，もっと幸せになれる方が増えると思っています。



社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 前田竜也

私は，北九州市門司区にある社会医療法人財団 池友会 新小文字病院の作業療法士です。（写真の右から2番目）当院は，214床の急性期病院です。リハビリテーション科作業療法の対象者様は，主に急性期の整形外科，外科，呼吸器外科，脳神経外科，内科，形成外科，脊髄脊椎外科，循環器内科です。作業療法士数は29人で，門司エリアの医療機関に在籍する作業療法士の約3割にあたります。心臓リハビリテーション指導士，認定呼吸療法士資格をもつスタッフが在籍しており，各分野の作業療法，リハビリテーションが充実しています。当院作業療法士は，高齢化が急速に進む門司地区の中で，人々が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来るようお手伝いできればと考えています。そのために生活行為向上マネジメント研修会への参加を積極的に行っています。

私は，作業療法士となって7年目になりました。これまで様々な対象者様のリハビリに関わらせて頂きました。そこでは，リハビリ科内では，解決の難しい問題もありました。そんな時，脊髄脊椎外科の医師を中心にリハビリ，看護師，放射線技師，薬剤師，臨床検査技師など他職種で構成される臨床研究部ができました。ここでは，臨床で感じる問題や疑問を持ち寄り，臨床研究デザインを作成しています。

この活動をきっかけに肩関節の早期運動療法について，第49回日本作業療法学会，九州理学療法士・作業療法士合同学会2015で，筆頭演者として発表を行いました。プライベートでも，飲み会やゴルフ，野球，サバゲーなど他部署の職員と遊ぶことが多くあります。仕事を忘れ楽しむことは，私のバイタリティーの源となっています。今後も良い環境とよい仲間と一緒に頑張っていきたいです。



社会医療法人財団白十字会 白十字病院

- 【募集職種】 作業療法士・言語聴覚士
 【募集人員】 OT 2名, ST 1名
 【雇用形態】 常勤
 【給 与】 当法人規定による ※経験年数を考慮
 【賞 与】 年2回 (7, 12月)
 4.04ヶ月 (前年度実績)
 【勤務時間】 8:30~17:30
 【休 日】 月~土 (365日体制, 日祝交代勤務)
 日祝, 盆休(2日), 年末年始(5日)
 4週8休制
 【福利厚生】 健康, 雇用, 労災, 財形貯蓄制度,
 厚生年金
 【そ の 他】 交通費, 住宅手当, 家族手当,
 退職金制度
 【備 考】
 466床, 急性期, 回復期, 療養を擁するケアミ
 ックスの病院です。法人内訪問看護ステーションへの
 出向も可能です。
 【連絡先】
 〒819-8511 福岡市西区石丸3-2-1
 社会医療法人財団白十字会 白十字病院
 電話092-891-2511 担当: 福山

蛍水会 名戸ヶ谷病院

- 【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 常勤
 【給 与】 初任給26万円~ (諸手当込)
 前職給料考慮
 【賞 与】 年間2回 7月, 12月
 (前年度実績4.0ヶ月)
 【勤務時間】 8:30~17:30
 【休 日】 年間120日+有給10日+夏季休暇4日
 育児休暇有
 【福利厚生】 健康 労災 厚生 雇用
 【そ の 他】 交通費 当院規定による
 託児所有 独身寮完備 (月15000円)
 【備 考】 病床数247床 急性期 回復期
 【連絡先】
 住所: 千葉県柏市名戸ヶ谷687-4
 電話番号: 04-7167-8336
 E-Mail: nadogayareha@yahoo.co.jp
 見学, 質問等気軽に連絡ください。
 担当: リハビリ科 高木

桜十字福岡病院

- 【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 正社員
 【給 与】 新卒220,000円~ (経験年数を考慮)
 【賞 与】 年間3回 (7月, 12月, 3月) 4.5ヶ月
 【勤務時間】 8:30~17:30
 【休 日】 週休2日制
 盆・正月3日 (年間108日)
 【福利厚生】 社員食堂, 社員寮, 社員旅行,
 各種表彰制度有
 【そ の 他】 交通費 上限30,000円迄
 【備 考】
 回復期リハビリテーション病棟, 障がい者施設等
 一般病棟を中心とした病院, 老人保健施設, 通所リ
 ハ, 訪問リハ等様々なシーンにおけるリハを提供し
 ています。
 【連絡先】
 住所: 福岡県福岡市中央区渡辺通3丁目5-11
 FAX: 092-791-1105
 担当者: 道下裕之
 直通: 092-791-1079
 E-Mail: h.michishita@sakurajyuji.jp

はたけやまクリニック

- 【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 常勤 (非常勤は要相談)
 【給 与】 基本給20万~ (経験年数を考慮)
 【賞 与】 6月12月 (2ヶ月)
 【勤務時間】 月・火・金 9:00~18:00
 木 10:00~17:00
 土 9:00~17:00
 【休 日】 祝・日・水・盆・正月
 【福利厚生】 加入保険等
 (健康・労災・雇用・厚生年金)
 退職金制度有 (勤務3年以上)
 【そ の 他】 交通費上限1万円 マイカー通勤可
 【備 考】
 思春期デイケアにおける患者指導, プログラム作
 成, 運営の業務. 料理, 工作, スポーツ園芸等のプ
 ログラムが有. 詳しくはクリニックHPをご覧ください。
 【連絡先】
 北九州市小倉北区片野3-4-18
 電話番号: 093-383-2308 FAX: 093-383-2307
 担当者: 清水

株式会社 楽々サービス

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 正規職員
【給与】 200,000～270,000
(経験等考慮します)
【賞与】 1.5か月(年2回)
【勤務時間】 8:30～17:30(昼休み1時間)
【休日】 日曜日他(年間休日:106日)
【福利厚生】 健康保険, 厚生年金
雇用保険, 労災保険
【その他】 交通費支給 学会等研修の補助有
【備考】

発達障害分野に力を入れたいことによる募集です。発達分野の訪問リハや放課後等デイサービスの支援を中心に働いていただける方を募集します。

【連絡先】

住所: 北九州市小倉南区志井6-2-5
電話番号: 093-963-9900
FAX: 093-963-9911
担当者名 総務部 中島

二日市整形外科クリニック

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤
【給与】 21万～25万
【賞与】 3ヶ月
【勤務時間】 平日: 8時45分～18時(休憩75分)
土曜: 8時45分～13時
【休日】 日・祝・正月・お盆等
【福利厚生】 加入保険等(健康・労災・雇用・厚生)退職金制度有(勤務3年以上)
【その他】 交通費上限3万円
【備考】

H27年11月オープンの新規診療所です。通所リハビリにおける患者指導, プログラム作成, 運営業務

【連絡先】

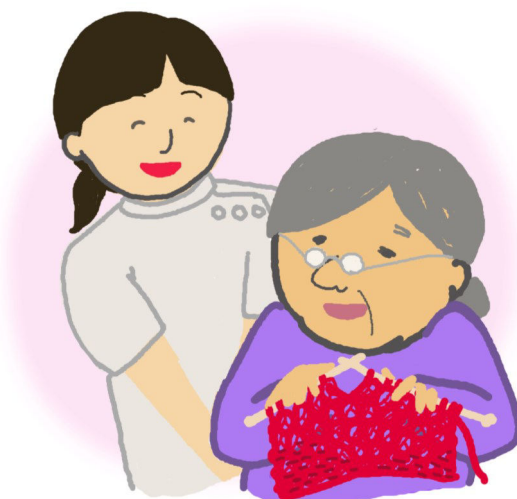
住所: 福岡県筑紫野市紫2丁目22番1号
TEL: 092-928-2222
FAX: 092-928-2224
担当者名: 白石 亮輔

医療法人 敬天会 武田病院

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1～2名
【雇用形態】 常勤
【給与】 年俸制 330万円～350万円
【賞与】 なし
【勤務時間】 8:30 ～ 17:30
【休日】 年間107日 日曜日休み
他ローテーション
【福利厚生】 健康保険, 厚生年金, 雇用保険,
労災保険
単身用ワンルームマンション有
(自己負担: 月20,000円)
【その他】 給与に関しては経験等を考慮します
【備考】 医療療養型118床
交通費は給与に含まれます
(駐車場あり)

【連絡先】

住所: 〒814-0104福岡市城南区別府4丁目5-8
電話: 092-822-5711
FAX: 092-822-5714
担当者: 田代 摩利子



会員動向調査

調査期間 (2015. 9. 2～2015. 12. 11)

福岡県作業療法協会 会員数2,778名 (正会員2,505 自宅会員273名)

<入会>

長野 朝夏	良創夢デイサービスセンター飯塚店	: 2015年11月	彌永 綾香	筑水会病院	: 2015年10月
			森 美菜子	介護老人保健施設 シャンティ	: 2015年10月
平田 理沙	飯塚市立病院	: 2015年10月	青山 祥巳	介護老人保健施設アルテンハイム	
山下 麻凡	飯塚市立病院	: 2015年9月		ヨコクラ	: 2015年10月
酒井 裕司	くらて病院	: 2015年8月	内村 聡志	丸山病院	: 2015年9月
栗田 清香	くらて病院	: 2015年9月	伊藤 文音	丸山病院	: 2015年10月
城戸 汐美	穎田病院	: 2015年10月	梅津 友加里	柳川リハビリテーション病院	
具志堅 千里	社会保険 稲築病院	: 2015年11月			: 2015年9月
池之上 滯未	社会保険 稲築病院	: 2015年11月	佐藤 浩子	柳川リハビリテーション病院	
森 麻衣子	東和病院	: 2015年11月			: 2015年10月
大松 世奈	松井病院	: 2015年7月	溝上 大紀	久留米大学病院	: 2015年10月
西田 寛規	牧山中央病院	: 2015年8月	高田 洋孝	高良台リハビリテーション病院	: 2015年9月
高山 久之	八幡厚生病院	: 2015年10月			: 2015年9月
坂場 翔子	在宅ナースセンター はんずあい	: 2015年11月	光安 香菜恵	高良台リハビリテーション病院	: 2015年9月
					: 2015年9月
白土 憂子	ひまわり病院	: 2015年8月	佐藤 優香	高良台リハビリテーション病院	: 2015年10月
敷田 竜輝	宗像医師会病院	: 2015年8月			: 2015年10月
三宮 尚美	古賀中央病院	: 2015年10月	北野 菜津希	ゆうかり医療療育センター	
下久保 綾	岡部病院	: 2015年11月			: 2015年11月
田平 翔太	ライトケアセンター ひかりの里	: 2015年11月	守田 菜々美	介護老人保健施設 はなぞの	: 2015年11月
					: 2015年11月
篠原 まり	桜十字福岡病院	: 2015年10月	岡 優子	聖ルチア病院	: 2015年11月
塩見 憂奈	桜十字福岡病院	: 2015年10月	緒方 紫乃	神代病院	: 2015年9月
谷川 圭介	桜十字福岡病院	: 2015年11月	小山 大作	神代病院	: 2015年11月
清島 僚恭	福岡和白病院	: 2015年8月	石橋 慎也	十連病院通所リハビリテーション	: 2015年9月
高良 友史	福岡和白病院	: 2015年9月			: 2015年9月
佐々木 智弘	中村病院	: 2015年9月			
高村 郁子	中村病院	: 2015年9月	<県内移動>		
樋口 祐一	福西会南病院	: 2015年9月	相良 恵美子	自宅	: 2015年4月
酒井 佑花	博愛会病院	: 2015年8月			(新生会病院より)
松尾 典樹	博愛会病院	: 2015年8月	奥 ゆかり	ふらて会 在宅支援センター	
上片野 茜	原病院	: 2015年8月			: 2015年9月
石橋 安代	福岡豊栄会病院	: 2015年10月			(自宅より)
濱地 親穂子	福岡豊栄会病院	: 2015年11月	漆山 修司	さわやか大畠式番館	: 2015年9月
原崎 真怜	倉光病院	: 2015年10月			(さわやか新門司館より)
谷口 文也	金隈老人保健施設フラワーハウス		長本 多恵	さくら整形外科リハビリテーション	
	博多	: 2015年10月		医院	: 2015年9月
眞玉 優美	長尾病院	: 2015年10月		(介護老人保健施設 さくら苑より)	
丸本 つぐみ	福岡リハビリテーション専門学校	: 2015年10月	熊添 潤一	(株) ハイライフ福祉事業センター	
		: 2015年10月			: 2015年10月
藤野 千里	いきいき那珂デイサービスセンター				(池園医院より)
		: 2015年11月	野々下 尚子	自宅	: 2015年8月
井上 大記	たたらリハビリテーション病院	: 2015年11月			(桜クリニックより)
			小谷 佳輔	北九州総合病院	: 2015年4月
遠山 雄介	八女リハビリ病院	: 2015年9月		(北九州安部山公園病院より)	
古川 香	高木病院	: 2015年8月	水落 由里子	自宅	: 2015年9月
楠田 祐樹	姫野病院	: 2015年8月			(鞍手共立病院より)
井本 将貴	堀川病院	: 2015年9月	古賀 哲雄	介護老人保健施設 恵の里	: 2014年7月
前田 敦雄	堀川病院	: 2015年9月			(介護老人保健施設 勝寿苑より)
川島 未佳	堀川病院	: 2015年9月			
矢ヶ部 諒	八女総合療育館	: 2015年9月			

三枝 麻利	一本松すずかけ病院：2015年4月 (田川新生病院より)	(介護老人保健施設アルテンハイムヨコクラより)
山本 彩子	見立病院：2015年10月 (颯田病院より)	富永 紘史 有明クリニックおおかわ交流プラザ 通所リハビリテーションセンター ：2015年5月 (柳川リハビリテーション病院より)
大内 陽子	訪問看護ステーション「こが」 ：2015年9月 (おかがき病院より)	植松 伸章 有明クリニックおおかわ交流プラザ 通所リハビリテーションセンター ：2015年5月 (高木病院より)
小柳 康裕	北九州古賀病院：2014年12月 (北九州中央病院より)	松尾 春菜 介護老人保健施設ハッピーライフ ：2015年8月 (田川新生病院より)
原田 幸子	北九州古賀病院：2015年9月 (桜十字福岡病院より)	古家 大作 自宅 ：2015年8月 (大刀洗病院より)
宇都宮 しのぶ	社会福祉法人 あげぼの会 ：2015年11月 (デイサービス あいあい高木より)	矢野 祐子 米の山病院 ：2015年9月 (みさき病院より)
禰占 哲郎	自宅：2015年10月 (九州大学→株式会社ケアリング デイサービス 宮崎より)	上田 祐二 川崎病院 ：2015年9月 (聖マリア病院リハビリテーションセンターより)
飯塚 恵津子	ちはやACTクリニック ：2015年9月 (介護老人保健施設 宗像アコールより)	高山 和規 久留米リハビリテーション病院 ：2015年9月 (就労継続支援 大地 より)
増田 優子	自宅：2015年5月 (寺沢病院より)	上田 佳恵 自宅 ：2015年6月 (久留米大学医療センター より)
末光 愛実	特別養護老人ホーム 恵 ：2015年6月 (原病院より)	
松尾 賢	福岡天神医療リハビリ専門学校 ：2015年10月 (回生病院より)	<退会者>
東谷 成晃	福岡信和病院：2015年10月 (戸畑リハビリテーション病院より)	南竹 亜紀：2015年8月
宮副 真希	よう整形外科クリニック ：2015年5月 (健康リハビリテーション内田病院より)	才津 慶子：2015年8月
清水 美紀	志摩老健センター パキス ：2015年10月 (介護老人福祉施設 なの国 より)	横川 冴子：2015年10月
島内 佳代	長尾病院：2015年11月 (自宅より)	三苦 智未：2015年10月
梅木 朋子	自宅：2014年12月 (桜十字福岡病院より)	寺田 由紀：2015年10月
川波 宏枝	みずま通所リハビリテーションセンター ：2015年4月 (柳川リハビリテーション病院より)	鳥谷 蒼衣：2015年11月
野口 佳一郎	介護老人保健施設クリーンパル・ ゆう：2015年4月 (植田病院より)	竹井 佳織：2015年11月
村元 聖治	八女リハビリ病院 通所リハビリ テーション：2014年4月 (八女リハビリ病院より)	井上 直美：2015年11月
生駒 英長	小規模多機能型居宅介護 貴人 ：2015年11月 (八女総合療育館より)	西林 なつか：2015年11月
古賀 理恵	自宅：2015年10月	畠田 恭平：2015年11月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587



編集後記

会員のみなさま、あけましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。

昨年一年間はどんな年でしたか？昨年を振り返ると、地域包括ケアシステムや地域ケア会議、生活行為向上マネジメント（MTDLP）などをキーワードに、さらに地域に目を向けた体制づくりが進んできました。また、認知症初期集中支援チームにおける作業療法士の活用についても動きが出てきました。このような動きは今年もさらに活発になりそうです。今年は診療報酬改定もあり、作業療法士にとっても変化の年になるでしょう。

広報部ではウェブサイトアンケートを実施しました。アンケートに回答して下さったみなさまに感謝致します。貴重なご意見ありがとうございました。アンケート結果を元にサイトのリニューアルに向けてコンテンツやレイアウトなどを広報部全員で検討中です。4月のリニューアルを楽しみにしててください。

今回の会報のイラストは広報部員の三嶋玲美さん（今津赤十字病院）に描いていただきました。柔らかなタッチのとてもしっかりとしたイラストになっています。

今年も広報部一同、みなさまとともに作業療法啓発のため努力して参ります。よろしく願い致します。

（許山）

